⑵　運営費交付金債務の当期振替額の明細

①　平成20年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	303,503,832	①　業務達成基準を採用した業務 【労苦継承事業費】 ＜資料収集経費＞ 資料展示委員会経費 ＜資料保管経費＞ レプリカ作成経費、資料劣化防止等経費、電子データ化経費 ＜資料展示経費＞ 平和祈念展示資料館経費 資料館維持管理経費、資料館パンフレット等作成経費、資料館備品等経費 特別企画展開催経費、平和祈念展・地方展示会開催経費 ＜調査研究経費＞ 関係者労苦調査研究費、外国所在資料調査研究費 ＜記録の作成・頒布経費＞ 資料電子データ化経費、出版物等作成経費 ＜講演会等実施経費＞ ＜語り部育成・派遣経費＞ ＜催し物への助成経費＞ ＜その他＞ 関係資料館担当者会議経費、労苦継承事業に関する意見聴取 【書状等贈呈事業費】 ＜恩給欠格者書状等贈呈事業費＞ ＜戦後強制抑留者書状等贈呈事業費＞ ＜引揚者書状贈呈事業費＞ ②　当該業務に関する損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：229,337,874 【労苦継承事業費】 （賃借料：20,000、光熱水料：6,499,500、備品費：50,400、消耗品費：76,002、保守・修繕費：2,063,994、印刷製本費：12,646,038、通信運搬費：2,815,429、業務外注費：64,018,586、業務委託費：49,776,500、助成費：49,776,000、旅費：8,880、謝金：1,068,800、その他業務費：840） 【書状等贈呈事業費】 （備品費：36,054,425、消耗品費：481,950、通信運搬費：662,208、業務外注費：3,318,322） イ）自己収入に係る収益計上額：該当ありません。 ウ）たな卸資産の当期受入額：19,288,810 ③　運営費交付金収益化額の積算根拠 中期計画の予定どおりに業務が進行したものにつきましては、当該業務に充てられる運営費交付金の計画額の全額を収益化し、一部予定どおり業務が進行しなかったものにつきましては、進捗度を収益化しております。
	たな卸資産見返運営費交付金	19,288,810	
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	322,792,642	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	311,856,869	①　期間進行基準を採用した業務 【労苦継承事業費】 ＜資料収集経費＞　資料・図書等購入費 ＜資料保管経費＞　保管倉庫賃借料
	たな卸資産見返運営費交付金	0	
	資産見返運営費交付金	0	